



Aki-Akano

- 前編 -

This is "Orihime&Tatsuki@BLEACH" fanbook
Presented by TANA@Garyuh_Chitai in 2007 summer
for Adult Only...

Aki-Akano

待ちに待った夏祭り。

夜空を焦がす幾千もの大輪と幾万もの人々。
その根っこをすり抜けるように私は走る。
すれ違い追い抜き見上げて目をそらす。

それらはすべて笑顔。
燃え上がる夜空よりもずっと華やかで美しい。

「おじさん お面をちょうだい」

私は握り締めたお金を差し出して言った。
汗でびちゃびちゃになった 汚い500円玉。

「どんなお面が欲しいかな」

お面屋さんは顔じゅうをくしゃくしゃにして言った。
それなのに真っ白でつるつるな声。

「笑っているのがいい。笑ってるお面がほしい」
「おじょうちゃんにはコッチのほうが似合うよ」
「やだ 泣いてるお面なんかいらない」
「こまったねえ」
「笑いたいの 私 笑いたいの 私もみんなと一緒に笑いたいの」

もう泣きたくない。 いっつも泣いてるもん。
泣いてたらまた怒られて叩かれて泣かされちゃうんだよ。
もうヤダよ。だからずっと待ってたの。夏祭りのお面屋さん。

おじさんは こまったねえ と繰り返すとグルリと首を回した
「笑ってるお面はないんだよ」

おじさんは 私の首をグルリと回した。
みんながきらきら笑いながらこっちを見ていた。
花火がぱらぱら跳ねながら優しく優しくつるつるに笑っていた。

「もう 売り切れちゃったんだよ」

可彩くくる「空色モニター」より



Contents

- p05 Aki-Akane (前編)
- p37 作品解説・次回予告
- p38 あとがき・奥付



アキアカネが
飛んでいる

たくさん たくさん
群れを成して
空を真っ赤に染めている



あの日――

織姫と一緒に見たときは
あんなにも美しく
思えたのに

彼女がいない――
それだけのことで
こんなにも色あせて
見えるなんて



……
そうだけど？



有沢 たつき
……殿だな





四楓院夜一と
申す

何だ この女
見たことない——

いや それよりも
なんとなく分かる

こいつ——
普通じゃない

会った早々で
すまぬが



井上織姫のことで
話があつての

わし
儂と一緒に
来てもらえぬか



まさか——
こいつが織姫を……？



織姫と
どういう関係？

あの娘が
どこにいるのか
知ってるのか？

まあ
の

知りたいか？



こっちだ。
来い。

当たり前だろ！

今すぐ案内し…

それなら好都合

え？

ほあぁあ

ガッちゃん



ここ最近
あやつの様子は
おかしくはなかったか？

詳しいことは
あとで話すが…

助け—？



井上はここで
おぬしの助けを
必要としておる



大丈夫か？

死ぬかと
思った…

意外と
デリケートじゃな

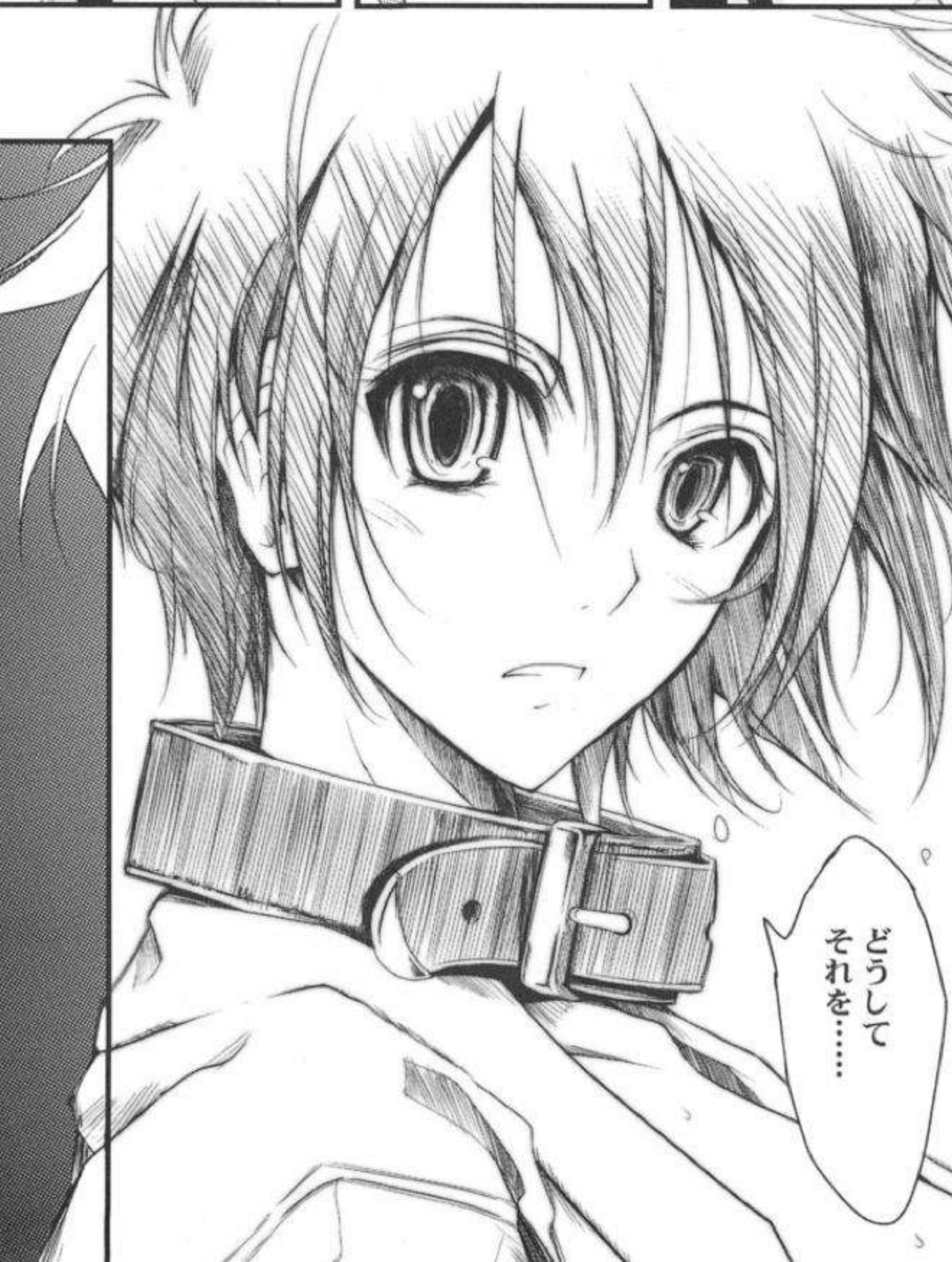
クロス…

おんえん



そう

織姫は
変わってしまった



夏休みが
終わってから

おぬしのことを
避け始めたはず

さらに言えば
ここ一週間ほどは
学校にも行っておらず
自宅にも不在

どうして
それを…

花火大会の日
あたしは言った

『遠くへ行っちゃ
ダメだよ』

そして織姫は
ちゃんと帰ってきた
あの胸騒ぎはただの
杞憂だと思った

でも 違った

日を追うにつれて
次第にあたしたちから
距離をおきはじめ

あの屈託の無い
笑顔も滅多に見せなく
なっていた

そして突然の
失踪――

この部屋には
結界が張ってある

井上からは
おぬしの姿は
見えないし声も
聞こえん

あやつは 今
普通ではない状態での
少々 つかいかもしれんが
ここで見ていてくれ

そこに彼女はいた
会いたくて会いたくて
心焦がしていた親友が

なに…
コレ……

だけど あたしは
指先ひとつ
動かさなかった

ん…っ

そこに
いたのは

ああ…
チンポお…っ

チンカスいっばいの
ほーけーチンポ
素敵い…

あはっ このニオイ
だけで私のチンポも
射精寸前だよお…

変わり果てた
織姫だった

ペニスを生やし
それを愛撫し合う
色情狂

何もかもが夢
否
悪夢のようだった

そしてさらに
あだしを動けなく
したのは

ちんぽキス
キスう…っ

あはあっ
いい…気持ちいい…っ

好き…っ
大好きいっ!

たつきちゃんっ!
たつきちゃん
のチンポおっ!

いったい何が…

有沢殿

ビクッ! ビクッ!

今 井上には僕の姿が
おぬしに見えておるのだ

え?

姿だけではない

声も

ニオイも

じゃあ織姫は
私と……??

あはあ…たちゆきちゃんの
ネチャネチャえろチンポお…
汗とぎーめんくさいチンカス
おいひすぎるよお…っ

ぬちや あっ♡



ちがう…
ちがうよ…

やだ…やだよ…
それは違う人…
あたしはここだよあ…



おっぱいにチンポっ!
犯してっ 犯してえっ!

もっとうっ!

もっとうっ!

あっ ああああんっ!
たつきちゃんのだ!
おチンポっ チンカスっ
チンポ汁ううっ!

チンポ汁ううっ!
チンポ汁ううっ!
チンポ汁ううっ!



もっとうっ…スケベなニオイ
おっぱいに
染みこませてえっ!



でちやうつ！
おっぱい…ミルクが
出ちやうつうつ！

あつ！ あああつ！
んああーっ！

セーッ
ピクッ
ピクッ
ピクッ



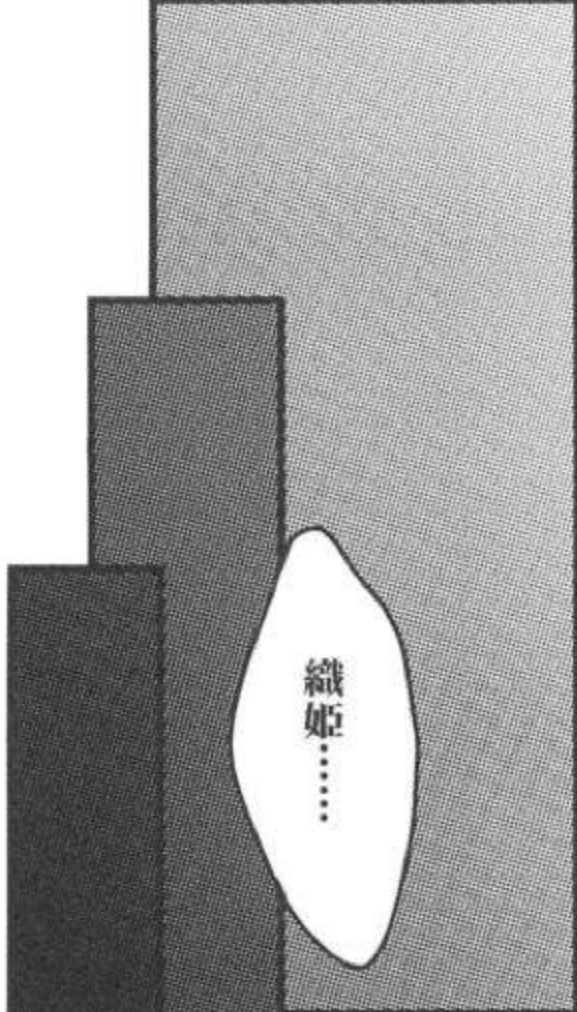
……っ

イクッ！
いクラッ！



チンポ汁で…
せーしのニオイでイクらうつ！

じゅっ



織姫……

……と
いうわけで

とりあえず尸魂界では
何があったのかまでは
理解してもらえたかの

まあ
だいたいの
経緯は

ポタポタ
ポタポタ
ポタポタ

死神か……

この娘がそんな戦いを
していたなんて全然
知らなかったな……

無理もない
本人ですら戸惑う暇が
ないほど急な戦いだっただ

それでも井上は
仲間を助けるため
精一杯 戦い
そして守り抜いた

特殊な能力を持って
いるとはいえ、少し前
までは普通の人間として
暮らしていたのだ

身体だけでなく
心にも相当の負荷が
あったろう

一護たちも含め
死神が求める『強さ』とは
他者を打ち倒す『戦闘力』に
他ならぬ

力のある者が
正義というわけではない
しかし、力なき者は
正義たりえんのだ

ただ、井上が力を求めた
理由はひたすらに仲間を
助けたいという想い

盲目的なその大儀が
あったからこそ
血みどろの戦場で正気を
保てたのであろうな

しかし
現世に戻ってから
反動がきた……

う……ん……

毎晩 夢の中では暴力と
恐怖の記憶が繰り返される

怒号 悲鳴 痛み
悲しみ そして
魂魄に刻み込まれた
血の二オイ

それらは自然と
薄らいでいくものではない
なぜなら 現世にも日常的に
存在している虚や死神を
目にしているからだ

『強くならなければ』
『守らなければ』
その想いは血の二オイとともに
ますます濃くなり……

『人間・井上織姫』を
蝕んでいった

だから井上は
ここへ逃げて来た

戦いや恐怖から
逃げたのではない

現世の日常から
おぬしから逃げただ
否

そんな…どうして
あたしに相談し…

しようと思っただけ
何度も何度も

だが したところで
答えは分かりきっている

え…？

おぬしも
『私が守る』
『一緒に戦う』と
言うだろうか？

命を懸けて
傷つき 血を流し
刃を振るい 殺しあう

おぬしの身も心も
魂魄までも血の二オイに
染めながら

井上はおぬしの
傍にいと安心
できるそうだ

人間らしく輝き
生命の二オイに満ちた
強さが好きで

それ故に 絶対
この戦いに巻き込み
たくない

たとえ誰よりも
愛しい『人間』で
あったとしても

終わりのない戦いと
壊れていく自分から
守りたかった

儂がおぬしの姿・声
二オイまでコピーしてまで
井上を抱いているのは
同情だけではない

井上という戦力を
失わないため
痛みを忘れさせる
麻薬のような役割を
演じているに過ぎん

じゃが 所詮は儂も
死神——ニセモノには
誤魔化し切れず
効果は薄れていった

結果的にあのよう
にエスカレートさせてしま
いまさにおぬしの手を
借りるしなくなってしまう
ということじゃ

本当に

すまぬ

……
っただけ

きかせて



…あれ？
いい
においがする…

なんだろう
久しぶりに感じる
このぬくもり…

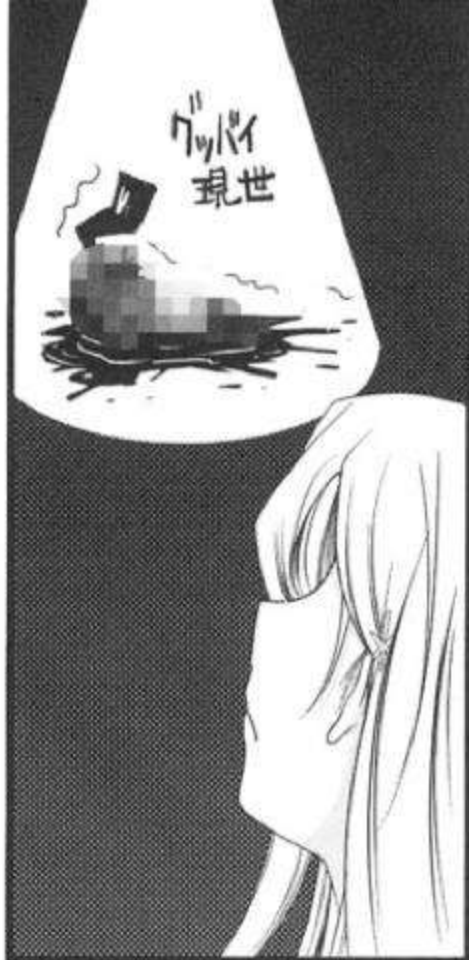


ああ そうだ
たつきちゃん…

まるで本物の
たつきちゃんに

抱かれて…

……え？



ちゅちゅちゅちゅ

あぁあぁあぁ

詳しいことは
さっき聞いたよ

いろいろ…
あったんだね

うん…

でも 安心した
てつきりあたしのこと
キライになったのかと
思ってたから

あ…
ごめんね

もちろん
『巻き込みたくない』って
理由もあるけど

私…その…
普通の人間じゃ
なくなったら…
逆に嫌われたく
なかったから…

実はね
あの戦いのずっと前から
たつきちゃんのニオイ
…好きだったの

たつきちゃん
部活…終わり？

あ 今からシャワー
浴びてくるから
少し待ってて

うん

恋愛感情とは違った
もっと安らぐ感覚…

漠然としてたものが
尸魂界から帰ってきて
急に高まってきちゃって

身も心も この
生命力にあふれたニオイなしじゃ
いられなくなってた

……

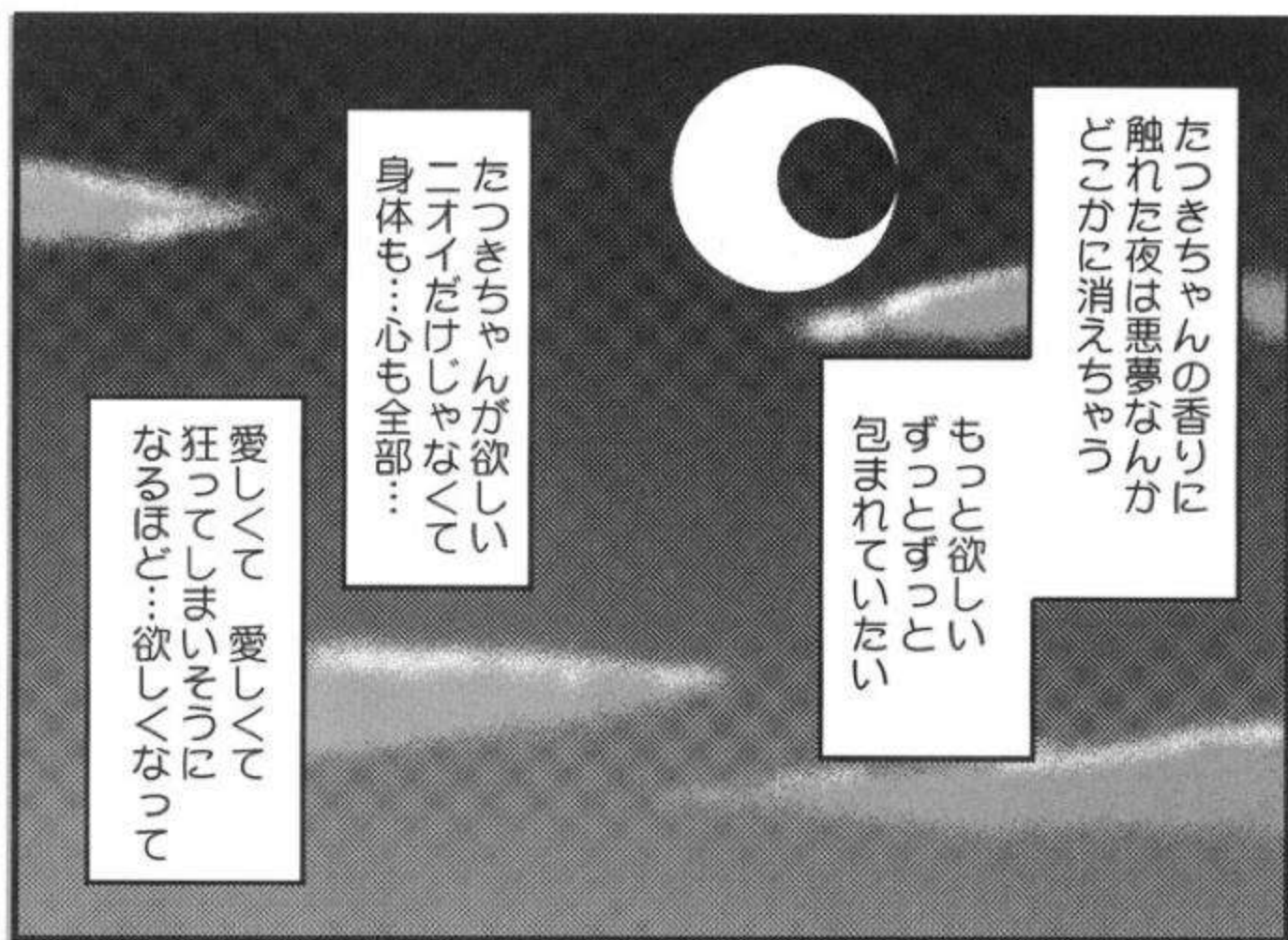


そんなふうに
欲情してたんだ♪

あつ あの
これは夜一さんが
イタズラで…

あわわわ

どしん



たつきちゃんの香りに
触れた夜は悪夢なんか
どこかに消えちゃう

もっと欲しい
ずっとずっと
包まれていたい

たつきちゃんが欲しい
二オイだけじゃなくて
身体も…心も全部…

愛しくて 愛しくて
狂ってしまいきらい
なるほど…欲しくなって



いいよ…
そのままです

どんなことがあっても
どんな姿になっても
どんなに壊れていたらって

あんたのこと嫌ったりしない
絶対に離れない そして
もう二度と…放さない

それに

コッソリ欲情してたのは
お互い様なんだからね



どう...?
今日は腋も...下も...
処理してないんだ...

部活のあと すぐにこっちに
連れてこられたから...
シャワーも浴びてないし

それに...

あ...♡



いいよ...
全部あげる...あたしの身体
織姫の好きにして...



あんたのスケベな姿を見たから
さっきからあたしもドキドキして
全身汗だくになってるんだよ



ああ…ホンモノだ…
ホンモノらよお
たつきちゃんの腋毛…っ

あは…おいしいい…
おいしいい…っ!

チンポがあ…
チンポ勃起する…っ

腋のニオイでせーえき
あふれてきたよおっ!



んあああつ! あああつ!
出ちや…あうあああつ!

ごめんね…っ! ごめんなさい…
チンポセンズリしちゃうっ!
止まらない…止まらないよお…っ!

いいよ…織姫のチンポ汁…
熱くて濃くて…くさいチンポ
ザーメンかけて…っ!

ニオイだけでえ…っ!
たつきちゃんのえっちなニオイだけで…
おチンポイクツ ひグうっ!
いっひやううううッっ!



んぐっ…んぢゅ…っ!!
んはああっ!!
子宮の二オイ…
素敵すぎ!!



あああつ!!
んはあ…あつ!!

ムレムレのおマンコお…
ああ…ぐっちよぐちよに
なってるう



ああ…見てよ
織姫の精液で…あたしの
マンコこんなになつたよ…



や…あああつ!!
そこ…おおおつ!!



あつ!! あつ!!
あああああつ!!
あつ!! あつ!!
い…っくらううう!!
イクツツ!!
あつ!! あつ!!



お 織姫…そこつ!!
あつ だめえつ!!

ああ…んつ!! 生マンコお…つ
たつきちゃんのスケベな
おマンコ汁ううつ!!

んはああ…っ!!
イクの? たちゆきひゃんも
イツて…っ おマンコこれイツてえ!

あは……っ
私……たつきちゃんの
便器になっちゃった……

おしっこかけられて……
飲んで……うれしくてうれしくて
またイツちやった……

もうチンポが……
射精が止まんない……

こんなの初めて……
ますます壊れちゃう……



もっと……して……
ねえ……私をもっと
たつきちゃん専用の
便器にして欲しいの……

ああ……まさか……
ダメ……織姫……っ

いいよね？
たつきちゃんの一
ムレて……におって……
いやらしい穴……

ダメだよ……
そんな甘い声で
言わないで……

いっばい毛が生えてて
いっばい……いっばい……
ウンチが出るところ……
……いいよね？

ダメ……ダメ……
それだけは……

……うん



信じられないよ
ホントにいいの？

こんなに汚くて
くさくてスケベな
お尻の穴で

ウンチの穴で織姫と
キスしていいの？

ああ 感じるの…

お尻に…
織姫の熱い息が…

あつ！ んああつ！
気持ち…いいっ！ いいっ！
織姫…なめて…しゃぶってっ！

きや…ああつ！
んあああ…お尻…っ
おり…ひ…めえ…っ！

ケツ穴っ ウンコの穴ああつ！
もつと、もつと奥まで…あああつ！
すごい…すごいいいっ！

おぶっ！
んぐ…んぐうっ！

んふ…んぶっ
んぐうううっ！



はっ…はっ…
んううう…

田上おはね
田上おはね

くっ…あ…

あっ!



見せてあげる
見てほしい

あっ!
あああっ!

食べさせてあげる
食べてほしい…



全部あげる—
そして 織姫の全部が
あなたが—欲しい

うああ…出る…よおっ!
織姫…見て…見てえっ!
ああ…受けとめ…てええっ!

織姫え…っ
あああっ！

あああ…っ！ 出る…
出て…る…っ！ 気持ち…
いいいい…あああっ！

んあっ♡あっ♡
んあっ♡あっ♡
んあっ♡あっ♡
んあっ♡あっ♡
んあっ♡あっ♡
んあっ♡あっ♡



ああ…
しちゃった…

大好きな人を便器にして…
愛してる人を汚して…
…あたし…あたし…

はあ…はあ…
はあ…ん…

イッ
ちやっただ…

織姫の顔に…口に…
ウンコひりだして
イッっちゃったあ…

すごいよ…
見て…

たつきちゃんのニオイが
身体じゅうに染みこんで
いくよ…

嬉しい…嬉しいの…
ホラ…嬉しくて…まだ
こんなに勃起してる…

今度はたつきちゃんの
中に…私のニオイを
射精させて欲しい…



織姫…なんてやらしい顔してるんだよあ…

あたしも同じような顔してるのかな？

してるよね
当たり前だよ
…だって

いいよ…して…
チンポで…してえ…

もう頭の中は織姫と一緒に
なることしか
考えられないもの

ドクン



入れて…早くう…っ

ケツ穴

ウンコ

ちんぽ

チンポ

うんこ

ケツマンコ

ちんぽ

せーえき

チンポ汁

チンポあ…っ

ドクン

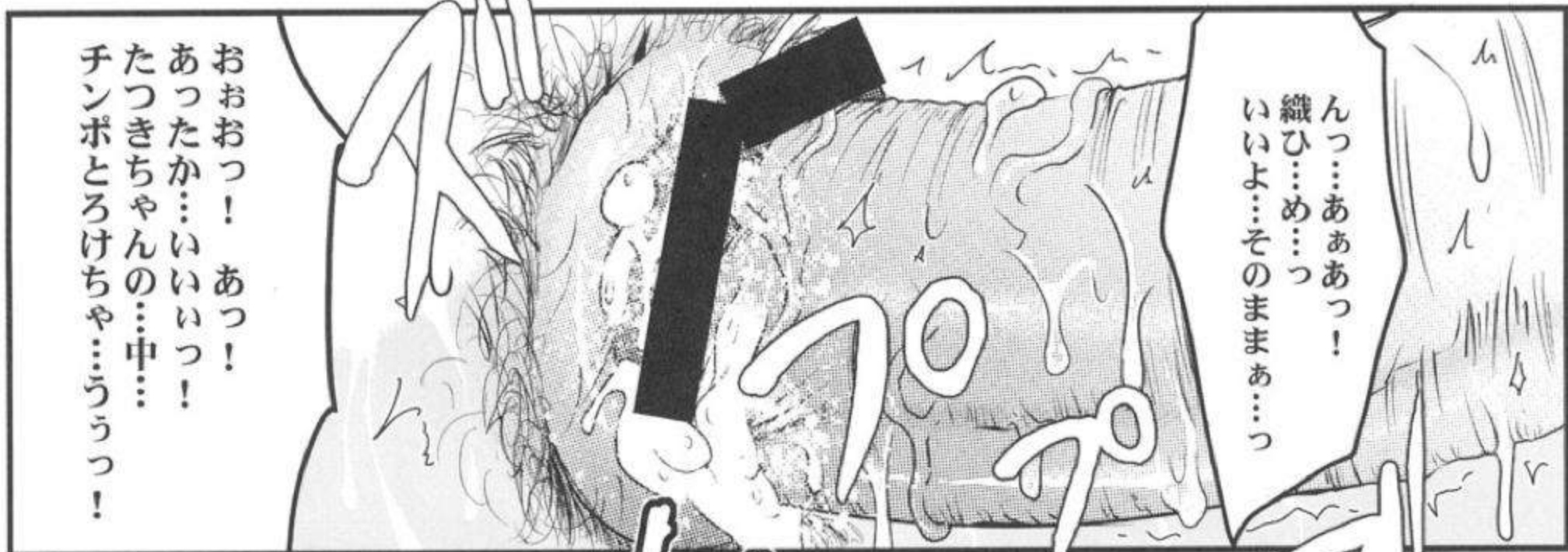
ドクン

オ…♡



ああああ…夢みたい…
たつきちゃんのお尻…
ケツ穴にチンポお…っ

セックス…私たち
せつくす…するんだあ…
はああ…せつくす
せつくす…せつくす
する…するよお…っ！



んっ…あああっ！
織ひ…め…っ
いいよ…そのままあ…っ

おおおっ！ あっ！
あったか…いいいっ！
たつきちゃんの…中…
チンポとろけちゃ…ううっ！



んおおっ！
ちん…ぽ…おおおおっ！

んおお…おっ！
おああおっ！
ああううああああっ！



ほら たつきちゃん
のウンチだよ…気持ち
いいでしょ？

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ



くああ…あああつ
お尻…いいいいっ！
チンポ…あああつ
熱い…お 大きい…っ！

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ



いい…っ いいっ
あああつ！
身体中…おかしくなるう！

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ



お願い…欲しいっ！
チンポ汁出してえっ！

織姫…好き…好きいいっ！
ケツ穴で…イッてっ！
チンポ…イッてよおっ！

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ

ぬゅ
ぬゅ
ぬゅ



たつきひやんを…わ、わたしのものに…するっ！しちやううっ！



たつきちゃんのニオイ…お尻…ケツあなあ…っ！ウンチいっ！全部犯すのっ！孕ませるうっ！



してっ！…してえっ！

ケツ穴孕ませるええっ！



いつていいのっ？出すよっ？ウンチちんぽで射精しちやうよっ？

いいよおっ！お願い！早く！早く！早くうううっ！あたしのこーもん…チンポ穴にっ！ちんぽ便器にしてよおっ！



あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー



あああああ…
あはああ…っ

キもひ…
いじいじ…っ



あたしも…ケツ穴から…
お腹…口まで…身体中
あなたの二オイでいっぱい
なっちゃったよ…



はああ…んっ
チンポに…たつきちゃんが
しみこんでくるう…っ



あああ…肛門の中で…
たつきちゃんと私が混ざってる…
ぐちゃぐちゃ動いてチンポに
からまってるう…っ

ねえ 見たい…たつきちゃんの
お尻の中の…見たいよ…

うん…見て…
せーえきうんち…
ひり出すところ…全部…



せーえきうんこお...
あふれて...
きじやうら...

はあ...んっ

ガッ

ガッ

ガッ



ホント...底なしの
変態なんだから

あ...

あう...



あはっ
コレ見てまた
興奮してきたの？

は...

ん？

ごゴメン...私
まだおさまらない
...かも



...た
たつき...ちゃん...

あ
あの...

は...



ま・それは
お互い様かな

今度はあたしがあんたの
スケベなニオイ...
いっぱい出してもらう番
だからね♪

私は拒絶するっ!



一見ボーイッシュな
たつきちゃんも
身体は立派な女の子
普段はちゃんと
お手入れするんです



ちなみにソイエ
ではなく
安全カミソリ派です



なお お風呂場は
雑菌が多いため不衛生です
剃毛は清潔な自室で
行うように心がけましょう

台無し。



作品解説

・次回予告(?)

前編、ということで物語はまだ終わっていません。

後編で終わるのか、もしかしたら間に「中編」を入れなきゃ終わらないか…現段階ではまだネームが決まってないのでなんとも言えませんが、ラストはもう考えているのでキッチリと終わらせたいと思っています。

原作では、たつきに出番があまりないまま舞台が虚園に移ってしまったのですが、一護たちが旅立つ直前からかんできたところを見ると、この後、現世で重要な役割を果たす気がしてなりません。

彼らを見送ったあと浦原が意味深な発言してましたもんね。それに弓親が「虚のニオイがする…でも虚にしてはなんだか…」と言った後にたつきのコマにうつったシーン。あれはなにかの伏線なんだと勝手に思い込んでますがいかがでしょう。

とにかく、たつきは人気どころか認知度すら低いので非常に悔しいです。方向性としてはアレですが、この作品を通じてたつきに興味を持って原作を手にとって好きになってもらいたいものです。

原作では色気が非常に少ないので今回はネームで違和感でてるかもしれないですけど、エロということでちょっとご容赦願いたいです。髪型も難しかった…。

織姫についても髪形を自分なりにアレンジしてます。もっと丸っこい輪郭なんですけどね。意外と難しいです。あと表情はけっこう明るめに。原作では最近、ほとんどつらそうな表情ばかりなので、少し前のいつでも明るくちょっとおバカな雰囲気は出してみたかったです。アホな織姫、好きです。

とりあえず次回は、戦いに身をおきながらも心の支えを得た織姫の変化、そして戦いを見守るという立場になって徐々に現れるたつきの心情の変化、それから夜一…という形でいきたいです。舞台は学校とかも入れたいですね。もちろんエロもさらなる激しさを…?

ちなみに表紙ですが織姫はヴァイザード、たつきはアランカルな雰囲気描いてみました。着色に一部失敗しちゃったところがあるのですが…入稿してから気づきました。悔しい…。

次回もまた一風変わった表紙にチャレンジできたらいいなと思います。

以上 駄文でした。

あとがき

さて、今コレを書いている段階でまだ原稿は終わっていないのですが、なんとか間に合っていることを祈りたいです…。

さて、作品については前頁で触れたので、ちょい近況を。

右のサンプルは「コミック天魔」という雑誌に掲載してもらっている漫画です。しばらくはこの雑誌メインで描かせてもらう事になりそうです。スカとかフタナリは雑誌で描くのはあまり推奨されないのですが、逆に同人誌でのイメージに縛られない作品を描ける場ということで割とのびのび描かせてもらってます。

といってもやっぱり巨乳+汁だく+卑語満載な路線は変わらないんですけどね。もしよかったら書店で見かけた際には目を通してもらえると幸いです。

いちおうは今後は漫画がメインになりますが、イラストなどもちよくちよく描いていく予定です。相変わらずごちゃごちゃ描き込む作風ですけど、こちらも随時ホームページで情報を出していきますので、よかったら見てやってくださいね。

同人誌については、もっと冊数を出したいところですが仕事とのバランスを考えればやはり年に二冊くらいしか出せない状態です。もっとももっといろんな作品が描きたいんですけどね・・・ブリーチだけでもネタがいっぱいあるのに。

今回は完結していないのですが、現時点での感想などお寄せいただければ幸いです。

では また次の作品でお会いしましょうー。

2007年8月19日 TANA

【奥付】

発行：我流痴帯

著者：TANA

2007年8月19日発行

e-mail : garyuh@tana00.sakura.ne.jp

URL : <http://tana00.sakura.ne.jp>

印刷：しまや出版

※ 18歳未満の購読・閲覧を禁じます。

※ この本の内容を無断で転載・複製・

WEBなどで配布することは厳禁です



Aki-Akano -前編-

我流痴帯

<http://tana00.sakura.ne.jp>

2007_Summer

